

1. 災害概要

1.1 災害の概要

平成24年7月11日から14日かけて降り続いた降雨により、福岡県、熊本県、大分県、佐賀県で記録的な大雨となり、気象庁は「平成24年7月九州北部豪雨（以下、「本豪雨」と称する。）」と命名した。

本豪雨により、熊本県では、死者・行方不明者25名、住家全・半壊1,498棟をはじめとする甚大な被害となっている。特に阿蘇地域（阿蘇市、高森町、南阿蘇村）においては、土石流やがけ崩れなどの土砂災害が多発し、県内で発生した108件の土砂災害の内、85件が阿蘇地域に集中して発生している。

表 1.1-1 本豪雨による土砂災害発生件数

市町村名	危険箇所区分	災害種別		総計
		土石流	がけ崩れ	
阿蘇市	土石流危険渓流	62		62
	急傾斜地崩壊危険箇所		8	8
	土砂災害危険箇所以外	7		7
	小計	69	8	77
高森町	土石流危険渓流	2		2
	急傾斜地崩壊危険箇所			
	小計	2		2
南阿蘇村	土石流危険渓流	5		5
	急傾斜地崩壊危険箇所		1	1
	小計	5	1	6
総計		76	9	85

表 1.1-2 本豪雨による被害概要

被害種別	分類	被害数	被災地域
人的被害	死者	23人	阿蘇市(21), 南阿蘇村(2)
	行方不明者	2人	阿蘇市(1), 高森町(1)
	重傷者	3人	阿蘇市(1), 南阿蘇村(2)
	軽傷者	8人	熊本市(3), 菊池市(2), 大津町(1), 産山村(1), 南阿蘇村(1)
	計	36人	
住家被害	全壊	211棟	熊本市(87), 菊池市(1), 大津町(2), 阿蘇市(103), 産山村(1), 南阿蘇村(9), 相良村(3), 五木村(4), 球磨村(1)
	半壊	1,287棟	熊本市(145), 菊池市(1), 大津町(17), 阿蘇市(1120), 高森町(3), 南阿蘇村(1)
	床上浸水	513棟	熊本市(322), 玉名市(2), 玉東町(5), 山鹿市(5), 菊池市(80), 大津町(16), 菊陽町(29), 産山村(2), 高森町(5), 南阿蘇村(5), 八代市(5), 芦北町(29), 相良村(2), 五木村(2), 山江村(1), 球磨村(3)
	床下浸水	1,625棟	熊本市(494), 玉名市(9), 玉東町(13), 和泉町(4), 山鹿市(14), 菊池市(132), 合志市(3), 大津町(42), 菊陽町(52), 阿蘇市(615), 南小国町(2), 小国町(2), 産山村(17), 高森町(32), 南阿蘇村(10), 八代市(46), 芦北町(101), 湯前町(1), 相良村(5), 五木村(7), 山江村(3), 球磨村(21)
	一部破損	17棟	熊本市(1), 山鹿市(1), 菊池市(6), 産山村(1), 南阿蘇村(2), 益城町(1), 芦北町(1), 球磨村(1)
	計	3,653棟	

(出典: H24.7.12熊本広域大水害に係る被害報告(第67報:9月14日現在))



阿蘇市一の宮町
手野地区付近



阿蘇市一の宮町
中坂梨地区付近



阿蘇市一の宮町
坂梨地区付近

図 1.1-1 土砂災害の発生状況

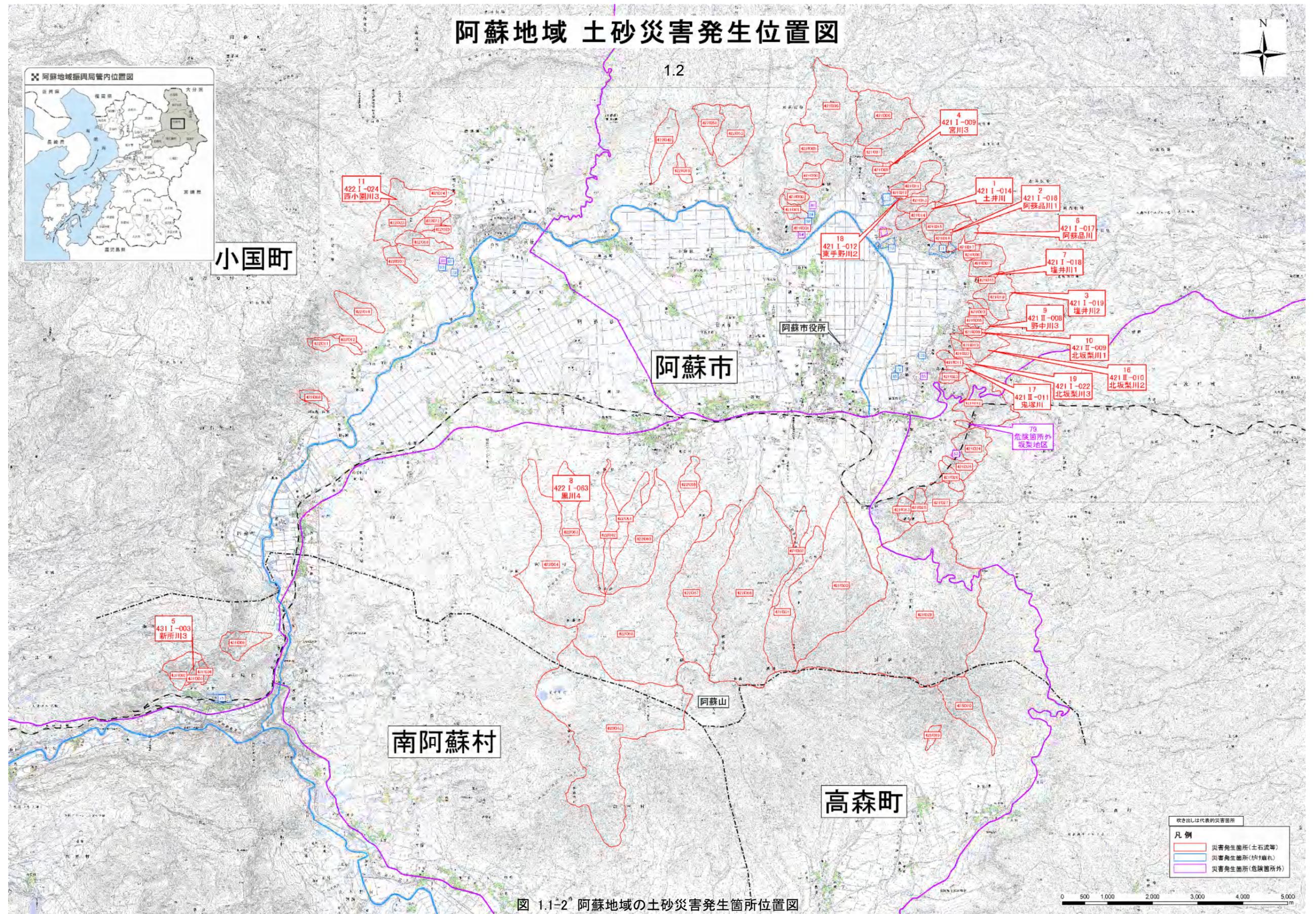


図 1.1-2 阿蘇地域の土砂災害発生箇所位置図

1.2 注意報、警報、土砂災害警戒情報の発表推移

(1) 防災気象情報の発表状況

防災気象情報の発表状況について、阿蘇乙姫観測所・高森観測所（気象庁）の降雨データとともに時系列で整理した。

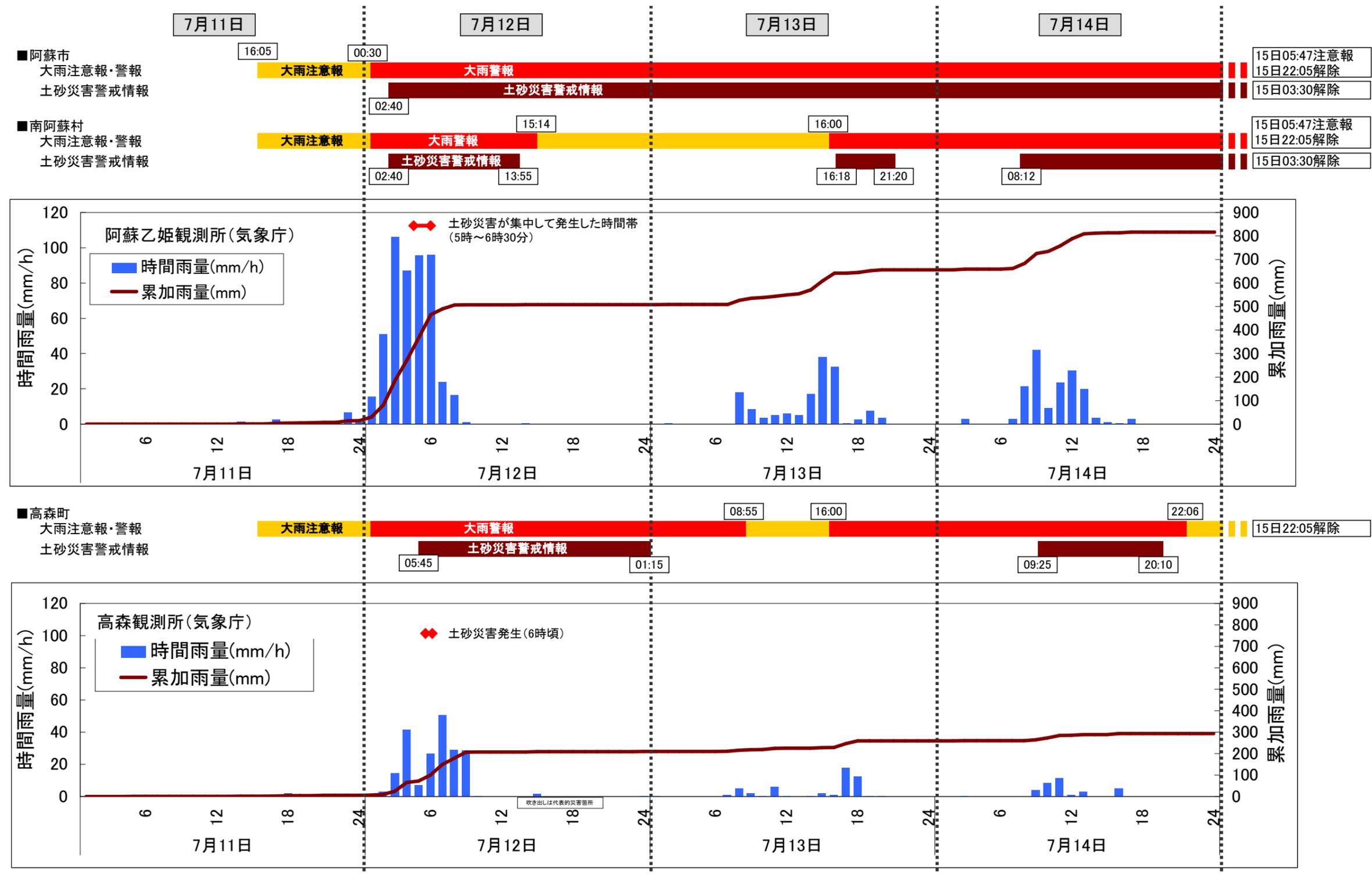


図 1.2-1 降雨状況と防災気象情報発表の関係図

(2) 土砂災害基準雨量による判定の推移

各雨量観測所における降雨と、土砂災害警戒情報の判断材料としている土砂災害発生の危険度レベル及び気象庁から提供される土壌雨量指数の推移を整理した。

その結果、阿蘇カルデラの中央火口丘より北側の地域では、おおむね12日3時～4時頃に土砂災害発生の危険度レベル10（土砂災害発生危険ライン）を超過していたことが確認できた。

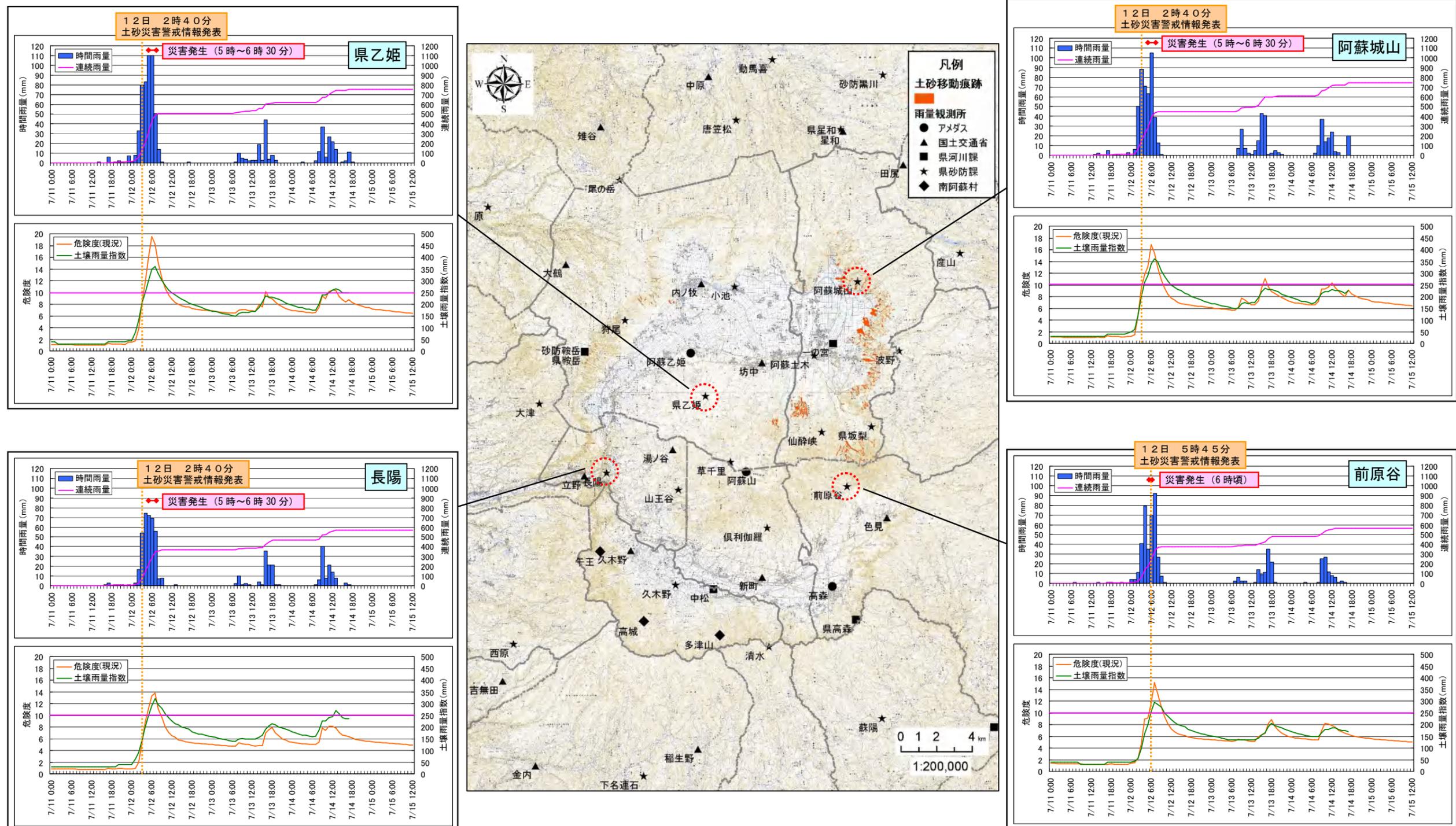


図 1.2-2 各雨量観測所における降雨状況と土砂災害発生の危険度レベル及び土壌雨量指数の推移